

CyberLink

PowerProducer 5

ユーザーガイド



著作権について

All rights reserved. CyberLink Corporation の文書による許可なく本書の一部あるいは全部を作り変えたり、検索システムに保存したり、あるいは電子的、機械的、フォトコピー、記録的方法を含め、いかなる方法においても転送することを禁止します。

法律の認める範囲において、POWERDIRECTOR は情報、サービス、または POWERDIRECTOR に関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらずいかなる保証も行わず現状のままで提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様は CYBERLINK がこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。

PowerDirector は本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Pro Logic, MLP Lossless, The "AAC" logo, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1992-2004 Dolby Laboratories. All rights reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,003,467; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS, DTS Digital Surround, ES, and Neo:6 are registered trademarks and the DTS logos, Symbol and DTS 96/24 are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol, DTS-HD and DTS-HD Master Audio are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

本社

所在地	CyberLink Corporation 15F, #100, Minchiuan Road, Shindian City Taipei 231, Taiwan
Web サイト	www.cyberlink.com
電話	886-2-8667-1298
Fax	886-2-8667-1300

Copyright © 2008 CyberLink Corporation. All rights reserved.

目次

はじめに	1
ようこそ	2
新機能	2
PowerProducer プログラム	3
PowerProducer プロジェクト	3
使い方	5
ムービーディスクの作成	5
PowerProducer のバージョンについて	6
サポートする形式	7
システム要件	8
 ムービーディスクの作成	 11
ディスク形式の選択	12
コンテンツの取得	15
ビデオのキャプチャ	16
取り外し可能デバイスから写真をキャプチャする ...	18
クリップの編集	20
ビデオクリップのアスペクト比を調整	20
AB カット	20
結合	21
分割	22
動画用の高度な編集（オプション）	22
CM カット	23
写真スライドショーの編集	25
写真をスライドショーに追加	25
スライドショーの BGM を設定	26
スライドショー表示時間の設定	27
スライドショー効果の設定	27
静止画ファイルのバックアップ	28

タイトルサムネイルイメージの設定	28
自動写真回転	28
静止画用の高度な編集（オプション）	28
ブラウズ スライドショー	29
ディスクメニューの作成	30
テンプレートを選ぶ	30
ディスクメニューのカスタマイズ	31
チャプタの設定	33
筋書きの整理	36
プレイリストの追加	37
コンテンツのファイナライズ	39
ディスクコンテンツのプレビュー	39
ディスクへの作品の書き込み	40
ディスクイメージとしての作品の保存	41
フォルダの作成	42
書き込み終了後のディスク編集	43
Right-to-Disc	45
ビデオを直接ディスクに書き込む	46
ディスクユーティリティ	51
ディスクの消去	52
ディスクのコピー	53
DVD プレイヤ互換ディスクの作成	55
ディスクのファイナライズ実行と解除	57
ディスクイメージの書き込み	58
ディスクイメージの保存	59
フォルダの書き込み	60
ファイルの出力	61

作品の環境設定.....	63
プロジェクトの環境設定	64
ビデオ / 音声の環境設定	66
一般的な設定	67
テクニカルサポート	69
テクニカルサポートにお問い合わせになる前に	70
Web サポート	71
索引	73

第 1 章：

はじめに

この章では、CyberLink PowerProducer、およびデジタルムービー作成手順について説明します。また、作業を始める前に用意しておく必要のあるものについても、説明します。ムービーの作成をすぐに開始する方法についての説明は、11 ページの「ムービーディスクの作成」をご覧ください。

この章には、次の節があります。

- 2 ページの「ようこそ」
- 3 ページの「PowerProducer プログラム」
- 5 ページの「使い方」
- 8 ページの「システム要件」

ようこそ

CyberLink デジタルビデオツールによようこそ。CyberLink PowerProducer は VCD、DVD、Blu-ray ディスク、AVCHD メディアの製作を可能にする究極のディスクオーサリングツールです。さまざまなソースからビデオをインポートし簡単な編集操作をしてから一般のディスクと同様の操作でディスクに書き込めます。

CyberLink PowerProducer は、写真スライドショーの作成、ビデオの直接ディスク書き込み、ディスクの消去やコピーに使える便利なディスクユーティリティの活用、ディスクイメージの作成と書き込みなど機能が満載です。

新機能

CyberLink PowerProducer の最新バージョンでは次の機能が追加されています。

- Blu-ray ディスク、AVCHD ムービーの作成 (メニュー付き)
- マルチレイヤーメニューやさらに簡単に使えるメニューを作るためのメニュー作成ツール
- メニューのデザインを一新してさらに使いやすく強化された新メニュー
- 無制限に使える写真や動画と BGM も付けられる写真スライドショーの作成
- パフォーマンスが強化された書き込みとインポート機能
- ドルビーデジタル 5.1 クリエータを使った高品質 6 チャンネルサウンド出力のムービーを作成

注：使用できる機能は、インストールしているバージョンによって変わる場合があります。フルバージョンを購入するには、CyberLink オンラインストアをご利用ください。

PowerProducer プログラム

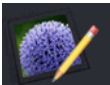
CyberLink PowerProducer で追加された新機能：



[ムービーディスクの作成]機能で、ビデオ CD、DVD、Blu-ray ディスク、AVCHD などのさまざまな形式でプロ顔負けのディスクが作成できます。



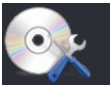
[Right-to-Disc](ディスク直接書き込み)を使うと、ビデオコンテンツを DV カメラ、HDV カメラ、TV、ウェブカメラ、VCR から直接 DVD やブルーレイディスクに書き込むことができます。途中でハードディスクにいったん保存する必要はありません。



書き換え可能ディスクに書き込む場合は、**[VR の編集]**機能を使って前に戻りコンテンツを後から編集することができます。



既にディスクプロジェクトを保存している場合は、**[プロジェクトを開く]**で素早くアクセスすることができます。保存したプロジェクトは後からテンプレートとして使うことができます。



[ディスクユーティリティ]機能には、ディスクの消去やコピー、イメージまたはフォルダからのディスクの書き込み、ディスクイメージの保存など便利な機能がたくさんあります。

PowerProducer プロジェクト

CyberLink PowerProducer のプロジェクトを保存すると、.PPP ファイルで保存されます。このプロジェクトファイルはユーザー指定のムービーコンテンツ、特殊効果、設定で構成された、未完の作品です。

注：CyberLink PowerProducer で編集したビデオクリップ、音声ファイル、写真は、元のメディアには影響しません。

既存のファイルを開いたり保存したりする他にも、CyberLink PowerProducer プロジェクトファイルを新しく作成できます。このような操作に使用するボタンは、ウィンドウの上部にあるほとんどの CyberLink PowerProducer 機能で提供されています。



注：これらのツールは、すべての機能で使用できるとは限りません。

使い方

CyberLink PowerProducer のメニューは使用する機能により異なります。ディスクメニューを作成する場合でも、作成したいメニューの種類によって特定の機能を省略することができます。どの場合にも対応できるよう、ここでは完成したディスクの作成に必要な機能とその他の機能に関する概要を簡単に説明します。

ムービーディスクの作成

次の説明は、メニューのカスタマイズやチャプタの作り方などフル機能のムービーディスクの作成方法をすべて説明しています。必要なところをお読みください。

注：ディスクの作成を始める前に、ビデオやオーディオなどの設定を先に行っておいてください。詳細は、63 ページの「作品の環境設定」をご覧ください。

ステップ 1：ディスク形式の選択

ステップ 2：コンテンツの取得

- ・ ビデオと写真をインポートする
- ・ ビデオと写真のキャプチャ

ステップ 3：クリップの編集

ステップ 4：写真スライドショーの編集

ステップ 5：ディスクメニューの作成

- ・ ディスクメニューテンプレートの選択
- ・ ディスクメニューのカスタマイズ
- ・ チャプタの設定
- ・ 構成の編集

ステップ 6：コンテンツのファイナライズ

- ・ コンテンツのプレビュー

- ・ コンテンツの書き込み、ディスクイメージの保存、ディスクフォルダの作成など

PowerProducer のバージョンについて

CyberLink PowerProducer で利用可能な機能はコンピュータにインストールしたバージョンにより完全に異なります。プログラムが表示する CyberLink PowerProducer ロゴをクリックするとインストールしてあるプログラムのバージョンが確認できます。フルバージョンを購入するには、CyberLink オンラインストアをご利用ください。

ソフトウェアのアップグレード

ソフトウェアのアップグレードは定期的に提供されます。ソフトウェアをアップグレードするには、ウィンドウ上部のボタンから



をクリックします。

Web ブラウザのウィンドウに CyberLink のオンラインストアが開きます。ここでは、プログラムのアップグレードや CyberLink や CyberLink 製品の情報も見ることができます。

注：この機能を使用するには、インターネットに接続する必要があります。

ソフトウェアの認証

現在の CyberLink PowerProducer を新しいバージョンにアップグレードできる CD キーがある場合、次の操作を行います。

1. [環境設定]  ボタンをクリックします。このボタンはどのウィンドウからもアクセス可能です。
2. [アクティブ化] ボタンをクリックします。

サポートする形式

ディスクの作成を始める前に、プロジェクトにインポートできるファイルの種別について知っておきましょう。CyberLink

PowerProducer では、次の形式のファイルをプログラムにインポートできます。

音声入力形式：.mp3、.wav、.wma

画像入力形式：.bmp、.jpg、.jpeg、.gif、.tif、.tiff、.png

ビデオ入力形式：.mpg、.mpeg、.avi、.dat、.wmv、.asf、.vob、.dvr-ms、.mod、.tod、.tpd、.m2ts、.mts、.mp4、.ts、.m2t、.pds

CyberLink PowerProducer は以下のディスクとファイル形式に対応しています。

ディスクのタイプ	ファイル形式
BD-RE、BD-R	BD-RE、BDMV
DVD-R、DVD-R DL、DVD+R、DVD+R DL	DVD-Video、AVCHD
DVD-RW	DVD-Video、DVD-VR、AVCHD
DVD+RW	DVD-Video、DVD+VR、AVCHD
DVD-RAM	DVD-VR
CD-R、CD-RW	VCD、SVCD

注：使用できる機能は、インストールしているバージョンによって変わる場合があります。フルバージョンを購入するには、CyberLink オンラインストアをご利用ください。

システム要件

次に、このプログラムを使用する際に推奨する最小限のシステム要件を記載します。使用するシステムがこの要件を満たしていても、一部の作業を行うためにはシステムの拡張が必要になる場合があります。

最小	システム要件
CPU	Intel Pentium 4 1.3 GHz または AMD Athlon 1500+ および上記仕様 (基本 DVD オーサリング用) Intel Pentium 4 3.0 GHz または AMD Athlon XP 3000+ および上記仕様 (高画質オーサリングとダイレクト DV/HDV 録画用)
メモリ	512 MB (1 GB 以上推奨)
OS	Windows 7/Vista/XP/2000 (Home または Professional 版)
画面解像度	1024 x 768
ハードディスク容量	VCD 作成では 1GB DVD 作成では 5GB ブルーレイディスク作成では 25GB
DV/HDV	OHCI IEEE 1394 対応デバイス
キャプチャデバイス	アナログビデオキャプチャ :WDM 規格に準拠した USB または PCI キャプチャデバイス DV カメラビデオキャプチャ :OHCI 規格に準拠した IEEE 1394 入出力デバイス DSC 写真のインポート :USB インターフェイス
書き込み	CD、VCDs、DVD、Blu-ray ディスクの書き込みには書き込みデバイスが必要。書き込みデバイスの要件については、弊社ホームページ (http://www.cyberlink.com) を参照ください。

オプションのシステム要件

- ビデオのキャプチャ中に HDV コンテンツをプレビューするには、nVidia 6200 (またはそれ以上) または ATI X700 (またはそれ以上) のグラフィックカードをご使用になることをお勧めします。
- AVCHD を再生すると大量のシステムリソースを使います。そのため、CyberLink PowerDVD Ultra 互換のグラフィックカードの使用を推奨します。http://www.cyberlink.com/multi/support/answerbox_productfaq.jsp?FID=2577&nProdId=31&ProdVerId=175&nCateId=5 を参照ください。

第2章：

ムービーディスクの作成

この章では、コンテンツのキャプチャから、完成した作品のディスクへの書き込みにいたる、ムービーの作成手順について説明します。また、さまざまな機能を駆使したビデオ作品や写真スライドショーの作成、ディスクのカスタマイズ、書き込み後のディスクの編集についても説明します。

この章には、次の節があります。

- 12 ページの「ディスク形式の選択」
- 15 ページの「コンテンツの取得」
- 20 ページの「クリップの編集」
- 25 ページの「写真スライドショーの編集」
- 30 ページの「ディスクメニューの作成」
- 39 ページの「コンテンツのファイナライズ」

注：使用できる機能は、インストールしているバージョンによって変わる場合があります。

ディスク形式の選択

ムービーディスクを作成するには、まず使用するディスクの形式を選択します。

ムービーディスクの作成を始めるには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を開きます。



2. [ムービーディスクの作成] をクリックします。



3. 使用するビデオ形式を以下から選択します。
- ・ **ビデオ CD**: 低品質のビデオまたはスライドショーを作成します。
 - ・ **DVD**: 長時間の高品質のビデオを作成するのに適しています。
 - ・ **ブルーレイディスク**: ブルーレイディスクプレーヤーで再生する高品質のハイビジョンビデオを作成するのに適しています。
 - ・ **AVCHD**: MPEG-4 AVC (H.264) ビデオコーデックを使う高品質のハイビジョンビデオを作成します。

注：Blu-ray ディスクおよび AVCHD メディアの作成はオプションです。特定の CyberLink PowerProducer のバージョンでのみ利用可能です。AVCHD に対応していないプレーヤーに AVCHD ディスクを挿入した場合、プレーヤーからディスクを取り出せなくなる、もしくはディスクが損傷を受ける可能性があります。

4. 必要に応じてその他のオプションを以下から設定します。

- 特殊ビデオレコーディング形式：特定のビデオレコーディング形式を選択します。
 - ディスクサイズ：使用するディスクのサイズを選択してください。
 - TV アスペクト比：ディスクの TV アスペクト比を選択します。
5. 次へをクリックして続けます。

コンテンツの取得

作品には、ビデオと写真の両方を同時に使用できます。インポートとキャプチャの機能は、[ムービーディスクの作成] 機能の [ディスク] ウィンドウにあります。

注：ビデオカメラによっては PC の外部ディスクドライブに認識される場合があります。このような場合は [ビデオファイルのインポート] 機能を使用して外部ドライブ（ビデオカメラ）からハードディスクにファイルを直接インポートします。

コンテンツウィンドウを開くには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. [ムービーディスクの作成] をクリックします。
3. ディスクのタイプを選択して、次へをクリックします。[ディスク] ウィンドウが開きます。



4. 左側のオプション一覧からメディアをインポートまたはキャプチャするかどうかを選びます。
 - ・ インポート：ビデオファイル、写真、ディスクのシーン

注：コンテンツのインポートを禁止する技術で保護されているディスクもあります。

- キャプチャ：各種ソース

ビデオのキャプチャ

CyberLink PowerProducer を使うと、以下の媒体からビデオキャプチャ（音声込み）できます。

- DV カメラ
- HDV カメラ
- TV
- PC ウェブカメラ
- VCR

ビデオのキャプチャを始めるには、以下の操作を行います。

1. コンテンツウィンドウの【キャプチャ】機能の【ビデオ】をクリックします。

2. 開いたウィンドウでのドロップダウンリストからキャプチャしたいソースを選びます。



注：DV または HDV カメラがオンになっていることを確認し、VCR/カメラモードに設定すると CyberLink PowerProducer が認識します。

3. 次のいずれかの方法でキャプチャするコンテンツを指定します。
 - ・ HDV または DV カメラからキャプチャする場合は、プレビューウィンドウの再生ボタンが使えます。
 - ・ TV からキャプチャする場合は、キャプチャするビデオのチャンネルを選択します。
4. 必要に応じて、[録画時間の設定] を選択して CyberLink PowerProducer でキャプチャするビデオの長さを入力します。
5.  をクリックしてキャプチャを開始します。
6. 必要なビデオをキャプチャし終わったら、 をクリックして操作を終了します。録画時間の設定を選択した場合、CyberLink PowerProducer は設定した時間を経過したら自動的にキャプチャ操作を停止します。

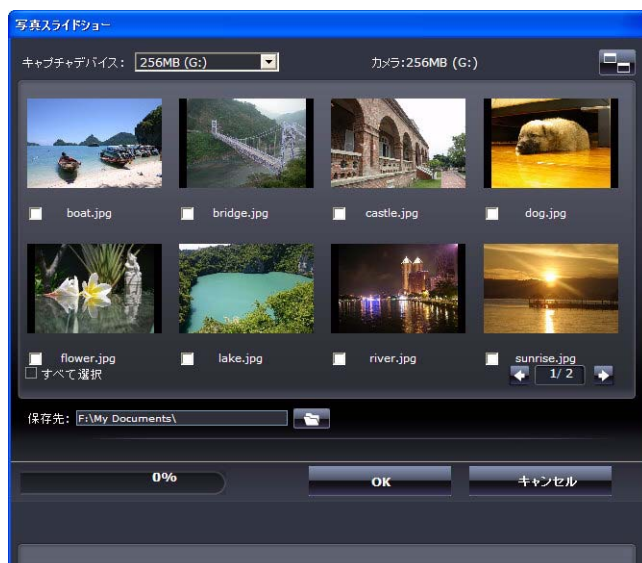
注：ノンリアルタイムキャプチャでは、フレーム落ちを防ぐためにビデオの再生終了後もキャプチャや処理を継続することがあります。

取り外し可能デバイスから写真をキャプチャする

写真オプションを選択して CyberLink PowerProducer を使ってデジタルカメラやその他 USB デバイスなどの取り外し可能デバイスから写真をキャプチャすることができます。

取り外し可能デバイスからキャプチャするには、次の操作を行います。

1. コンテンツウィンドウの [キャプチャ] 機能の [写真] をクリックします。[写真スライドショー] ダイアログボックスが開きます。



2. ドロップダウンボックスから取り外し可能デバイスを選択します。

3. キャプチャする静止画を選択します。
 - すべての静止画を選択するには、[すべて選択] オプションを選択します。
 - サムネイルの大きさを切り替えるには、 をクリックします。
 - サムネイルが1つのページに収まりきれない場合、 ボタンや  ボタンを使用して、別のページにあるサムネイルを見ることができます。
4.  をクリックし、静止画を保存するディレクトリを選択します。
5. [OK] をクリックします。

クリップの編集

CyberLink PowerProducer で、インポート / キャプチャしたビデオクリップを簡単に修正し、編集機能でビデオクリップのように操作して写真スライドショーを作成できます。必要に応じてビデオクリップのアスペクト比を調整することもできます。

この編集機能を使うには、[ムービーディスク作成]機能の[編集]にある[ビデオクリップ]をクリックします。

ビデオクリップのアスペクト比を調整

ビデオクリップをインポートまたはキャプチャする場合には、CyberLink PowerProducer が自動的にビデオクリップのアスペクト比を検出します。ビデオクリップが異なるアスペクト比を使っている場合は、手動で希望するアスペクト比に調整することもできます。

ビデオクリップのアスペクト比を手動で調整するには、次の操作を行います。

1. 作成者ウィンドウからビデオクリップを選択します。
2. ビデオクリップを右クリックして、[プロパティ]を選択すると、[動画のプロパティ]ウィンドウを開きます。
3. [アスペクト比]ドロップダウンから新しいアスペクト比を選択してから [OK] をクリックします。

AB カット

「AB カット」オプションは、ビデオクリップ / 写真スライドショーの最後のトリムまたは最後を残して真ん中を切り取るなどの操作ができます。

クリップ / スライドショーの AB カットを実施するには、次の操作を行います。

1. [編集]機能の[ビデオクリップ]をクリックしてから[ABカット]をクリックします。
2. ストーリーボードで編集するクリップ/スライドショーを選択します。
3. スライダまたは再生ボタンを使用してプレビューウィンドウの開始位置(スライド)にマークを設定してからをクリックします。
4. スライダまたは再生ボタンを使用してプレビューウィンドウの終了位置(スライド)にマークを指定してからをクリックします。
5. 選択：
 - ・ オレンジ色で示す部分を残すには、[選択部分を残す]
 - ・ オレンジ色で示す部分を削除するには、[選択部分を削除]
6. をクリックします。編集したクリップ/スライドショーがストーリーボードに表示されます。

結合

[結合]機能を使うと複数のクリップや2つ以上の写真スライドショーを1つの長いクリップ/スライドショーに結合することができます。

複数のクリップを結合するには、次の操作を行います。

1. [編集]機能の[ビデオクリップ]をクリックして[結合]タブをクリックします。
2. クリップ/スライドショーを選択してからをクリックして結合リストの表示に追加します。結合するクリップすべてについて、この操作を行います。
 - ・ 結合リストからクリップを削除するには、ボタンを使用します。

- ・ 必要に応じて、や ボタンを使用してクリップの表示順序を指定します。
- 3.  をクリックして結合を開始します。結合されたクリップは、1つのクリップとしてストーリーボードに表示されます。

注：ビデオクリップを結合すると、そのクリップのアスペクト比は一番長いクリップのアスペクト比に合わせて設定されます。

分割

既存のビデオクリップや写真スライドショーを2つの別クリップに分割できます。

クリップを分割するには、次の操作を行います。

1. [編集] 機能の [ビデオクリップ] をクリックして [分割] タブをクリックします。
2. 次のいずれかを行って、分割位置（クリップを分割する位置にあるフレームやスライド）を選択します。
 - ・ ビデオクリップ：スライダを使用して分割時間を指定します。
 - ・ アルバム：スライダを使用して分割を開始する位置の直前にあるスライドを指定します。
3.  をクリックして分割を開始します。2つに分割されたクリップが2つクリップとしてストーリーボードに表示されます。

動画用の高度な編集（オプション）

より高度な動画編集を行うには、[高度な編集] ボタンをクリックして CyberLink PowerDirector を起動します。このプログラムの使用方法については、製品に組み込まれているヘルプをご覧ください。

注：使用できる機能は、インストールしているバージョンによって変わる場合があります。

CM カット

CyberLink PowerProducer は、CM カット機能を使ってビデオや TV の録画からコマーシャル (宣伝広告) を削除します。

注：使用できる機能は、インストールしているバージョンによって変わる場合があります。

コマーシャルの自動検出

CyberLink PowerProducer は自動的にビデオのコマーシャルシーンを検出してそのビデオを編集する方法を決めることができます。次の操作を行います。

1. [編集] 機能の [CM カット] をクリックします。

2. 編集するクリップをクリックしてから [自動検出]



ボタンをクリックします。CyberLink

PowerProducer は、自動的にビデオからすべてのコマーシャルを検出し、終了するとプレビューウィンドウにオレンジ色で強調表示します。

3. 必要に応じて、プレビューページのボタンを使用して編集したビデオをプレビューします。
4. 必要であれば、プレビューウィンドウの下にあるスライダをドラッグしてさらに細部まで編集し  をクリックします。
5. [OK] をクリックします。編集したクリップが [ストーリーボード] ウィンドウに表示されます。

手動でコマーシャルを削除する

CyberLink PowerProducer を使用して手操作でビデオからコマーシャルを削除することができます。それには、次の操作を行います。

1. [編集]機能の[CM カット]をクリックします。
2. ストーリーボードでカットするクリップをクリックします。
3. プレビューウィンドウのインジケータをドラッグしてコマーシャルを開始する時間にマークを指定します。
4. プレビューウィンドウのインジケータをドラッグしてコマーシャルを終了する時間にマークを指定します。
5. オレンジ色を残す場合は[選択部分を残す]、残さない場合は[選択部分を削除]を選択します。
6. をクリックします。編集したクリップがストーリーボードに表示されます。
7. 必要であれば、プレビューウィンドウの下にあるスライダをドラッグしてさらに細部まで編集し をクリックします。
8. [OK]をクリックします。編集したクリップがストーリーボードに表示されます。

写真スライドショーの編集

CyberLink PowerProducer は写真を使って写真スライドショーウィンドウにダイナミックなスライドショーを作成するお手伝いをします。



写真スライドショーウィンドウは、写真を CyberLink PowerProducer にインポートすると自動的に起動されます。また、写真をインポートしてから [編集] 機能の [写真スライドショー] を選択しても開けます。

注：写真スライドショーは写真を CyberLink PowerProducer にインポートすると自動的に作成されます。

写真をスライドショーに追加

スライドショーの既存のアルバムに写真を追加するには、次の操作を行います。

1. [編集] 機能の [写真スライドショー] をクリックします。

2. 必要に応じて、 や  ボタンを使用して写真を追加したいアルバムを選択します。
3. [スライドの追加] をクリックします。写真をアルバムに追加するウィンドウが表示されます。
4. 追加したい写真を選択して [ファイルを開く] をクリックします。

注：必要に応じて、プレビューコントロールの回転  ボタンを使用して素早くスライドショーの写真の向きを変更します。

スライドショーの BGM を設定

写真スライドショーに BGM を設定するには、次の操作を行います。

1. [編集] 機能の [写真スライドショー] をクリックします。
2. 必要に応じて、 や  ボタンを使用して音楽を追加したいアルバムを選択します。
3. [BGM の設定] をクリックします。BGM ウィンドウが表示されます。
4. [BGM インポート] をクリックして、BGM に追加したいオーディオファイルを選択します。

注：写真スライドショーの BGM にアルバム全体や複数の曲を追加することもできます。

5. 必要に応じて、右側にあるボタンを使用して再生したい音楽の順序を設定してください。
6. [リピート再生] を選択すると、選択したオーディオファイルを自動的に繰り返し再生します。
7. [自動クロスフェード] を選択すると、選択したオーディオファイル間にクロスフェードを追加できます。
8. 必要に応じて、再生ボタンとトリムバーのスライダを使用してオーディオファイルをトリムします。

9. [OK] をクリックすると変更を保存してスライドショーに音楽を追加します。

スライドショー表示時間の設定

表示時間の設定では、スライドのイメージを表示する長さを指定したり、スライドショーアルバム全体の再生時間を指定したりできます。アルバムスライドショーの表示時間と追加した BGM の長さを合わせることもできます。

- ・ 表示する各スライド（写真）の表示時間を指定するには、[スライド] を選択して、表示時間を入力します。
- ・ アルバム全体の表示時間を指定するには、[スライドショー] を選択して、表示時間を入力します。
- ・ アルバムスライドショーの再生時間を BGM に選択した音声ファイルの長さに自動的に合わせるには、[BGM] を選択します。

スライドショー効果の設定

スライド間のトランジションや写真に動きを加えるなどの効果を写真スライドショーに設定できます。

- ・ 自動拡大縮小（パンとズーム）：スライドショーに動きを加えて拡大表示するようにできます。[自動拡大縮小] オプションを選択すると、写真スライドショーに拡大および縮小効果を加えられます。
- ・ トランジション効果：スライドショーアルバムの写真それぞれにトランジションを加えることができます。この機能は、[トランジション効果] のドロップダウンからトランジションタイプを選んで設定します。

注：[ランダム] を選択すると、同じスライドの繰り返しなどスライド間にさまざまなトランジションを追加します。

- ・ [所要時間] フィールドにはトランジションを発生させる時間量を秒単位で入力します。

静止画ファイルのバックアップ

書き込むディスクにスライドショーの写真をバックアップするには、[静止画ファイルの保存] オプションをクリックします。

タイトルサムネイルイメージの設定

スライドショーアルバムにあるイメージを、ディスクメニューにあるアルバムの表紙にサムネイルとして表示できます。

サムネイルに写真を設定するには、タイトル写真として設定したいストーリーボードの写真をクリックしてから  ボタンをクリックします。

自動写真回転

CyberLink PowerProducer は、Exif (エグジフ) 対応のデジタルカメラで撮影された写真の場合は、自動的に写真を回転させて適切な方向で表示します。自動的に写真を回転させるには、[自動回転] をクリックします。CyberLink PowerProducer は自動的に適切な方向に設定します。

静止画用の高度な編集（オプション）

より高度な静止画編集を行うには、[アドバンス編集] ボタンをクリックして CyberLink PhotoNow を起動します。このプログラムの使用方法については、製品に組み込まれているヘルプをご覧ください。

注：使用できる機能は、インストールしているバージョンによって変わる場合があります。

ブラウズ スライドショー

BDMV 形式でディスクを作成する場合、ブラウズできるスライドショーを作成できます。ディスクに書き込むと、ブラウズかのようなスライドショーにより写真をスライドショーとして表示できます。その際、[次のチャプタ] ボタンを使用して好みのペースで閲覧でき、追加した BGM が途切れることもありません。

ブラウズ可能なスライドショーを作成するには、[自動拡縮] を選択を解除してから [トランジション効果] ドロップダウンで [トランジションなし] を選択します。

注：この機能は、ディスクを BDMV 形式で作成した場合にのみ有効です。従って、CyberLink PowerProducer のすべてのバージョンで利用できないことがあります。

ディスクメニューの作成

カスタマイズメニューウィンドウで創造的で使いやすいディスクメニューが作成できます。できること：

- ・ メニュー背景の選択、またはテンプレートからの選択
- ・ テキストやボタンとテキストを含めたレイアウト全体の変更
- ・ チャプタ、最初に再生するビデオ、BGM の追加

[メニューの設定] ウィンドウを開くには、コンテンツウィンドウの [編集] 機能から [メニュー] をクリックします。



テンプレートを選ぶ

CyberLink PowerProducer はスタイリッシュなテンプレートを多数ご用意しています。このメニューは予め利用者に合わせてカスタマイズされています。さまざまな動きや音楽機能が使われている場合もあります。

予め定義してあるテンプレートを使うと、クリックできるテキストやサムネールを使ったメニューが作成できます。どちらでもお選びいただけます。CyberLink PowerProducer のメニューにはマルチレイヤー用のデザインもご用意しています。これらのメニューは、メインメニューページと作成したムービーにリンクするサブメニューで構成されています。

注：マルチレイヤーメニューの場合、サムネールクリップを表示するには先にシーンをクリックしてから  をクリックしなくてはなりません。

メニューテンプレートを選択するには、次の操作を行います。

1. メニューのカスタマイズウィンドウで、[テンプレート] をクリックします。
2. フィルタリストを使用して、ドロップダウンからご自分のムービーに合ったメニュータイプを選択します。
3. リストから使用するテンプレートを選びます。
4.  をクリックするとメニューのカスタマイズウィンドウに戻ります。

ディスクメニューのカスタマイズ

CyberLink PowerProducer では以下のメインメニューがカスタマイズ可能です。

メニューに BGM を追加する

ビデオから自分の写真またはサムネールを背景イメージとして追加してディスクメニューに使うことができます。

ディスクメニューにカスタマイズした背景イメージを追加するには、次の操作を行います。

1. メニューのカスタマイズウィンドウで、[テンプレート] をクリックします。

2.  をクリックして使用するイメージまたはビデオを選択します。
3.  をクリックして、メニューのカスタマイズウィンドウを閉じます。

メニューページに表示するサムネイルボタン数の指定

各メニューページに表示されるサムネイルボタンの数を指定するには、次の操作を行います。

1. メニューのカスタマイズウィンドウで、[ページ別サムネイル] をクリックします。
2. 対応するアイコンをクリックしてサムネイルボタンの数を選択します。
3.  をクリックすると、カスタマイズウィンドウを閉じ、変更を適用します。

メニューテキストの変更

メニューページに表示するテキストを変更するには、テキストをダブルクリックして、新しいテキストを入力します。

メニューページに表示するテキストのフォントプロパティを変更するには、テキストをクリックして、 をクリックします。開いたダイアログボックスでフォントプロパティやテキストの色を変更し、影や線を追加したら [OK] をクリックします。

BGM の設定

メニューテンプレートにはデフォルトで BGM が設定されていますが、自分で曲を選ぶこともできます。

メニューにアルバムに BGM を追加するには、次の操作を行います。

1.  をクリックします。[BGM] ダイアログボックスが開きます。
2.  をクリックして、音声トラックを開きます。音声ファイルは、ここで編集することも、選択して動画クリップに追加することもできます。必要に応じて、次のオプションを使用します。
 - ・ フェードイン / フェードアウトを行う。
 - ・ 動画クリップが終わるまで音声トラックを繰り返して再生する。
 - ・ トリムバーのスライダを使用して音声ファイルをトリムする。
 - ・ 音量を調節する。
3. [OK] をクリックします。[BGM] ボックスに音声トラックが表示されます。

ファーストプレイビデオクリップの設定

ファーストプレイに指定したクリップは、ディスクプレイヤにディスクが挿入されると、メニューページが表示される前に再生されます。プロの作品では、ファーストプレイは一般に著作権情報や警告の表示に使われますが、個人的な作品では、自己紹介や、何か別の動画クリップの表示に使用してかまいません。

クリップをファーストプレイに指定するには、 をクリックして対象のファイルを開きます。ファーストプレイに指定したファイルのセットを削除するには、 をクリックします。ファーストプレイをプレビューするには、 をクリックします。

チャプタの設定

CyberLink PowerProducer でムービー作品にチャプタを設定できます。市販のディスクと同様、チャプタを設定するとメニューページで

シーン選択が可能になり、前のコンテンツをスキップすることができます。



チャプタの自動作成

チャプタを自動作成するには、次の操作を行います。

1. チャプタを追加したいコンテンツウィンドウでビデオクリップを選択したら、[編集] 機能の [チャプタ] をクリックします。
2. 次のいずれかの方法でチャプタを設定します。
 - ・ ビデオに特定のチャプタを作成する場合は、[チャプタを均等に作成する] オプションを選択し、ボックスに数を入力します。
 - ・ CyberLink PowerProducer でチャプタのシーンを検出してチャプタを設定するには、[チャプタをシーン検出で作成する] オプションを選択します。

注：シーン検出の精度を上下させると、チャプタ数を調節することができます。精度が高くなれば、チャプタも増加します。

3. をクリックしてチャプタを作成します。各チャプタが、ストーリーボードにサムネイルとして表示されます。
4. [OK] をクリックします。

チャプタの手動作成

チャプタを手動で作成するには、次の操作を行います。

1. チャプタを追加したいオーサリングウィンドウでビデオクリップを選択したら、[編集]機能の[チャプタ]をクリックします。
2. 再生コントロールを使用してチャプタを作成するポイントを探し、をクリックしてそのポイントにチャプタを作成します。
3. [OK] をクリックします。

注：ビデオクリップのチャプタからストーリーボードに表示するサムネイルに使う静止画を指定するには、プレビューウィンドウで対象の画像を表示し、をクリックします。

筋書きの整理

ディスクメニューを作成したら、オーサリングウィンドウのサムネイルの順序が作成したムービー作品のビデオクリップやスライドショーの順序に対応していることを確認します。



クリップの順序を変える、レイアウトをカスタマイズする、または各クリップをプレビューして作品を整理できます。クリップを移動するには、次のいずれかを行います。

注：マルチレイヤーメニューの場合、サムネイルクリップを表示するには先にシーンをクリックしてから  をクリックしなくてはなりません。

- クリップを右クリックして、[前へ](先頭方向へ)または[次へ](末尾方向へ)を選択します。クリップが、指定した方向に1つ移動する。
- サムネイルをドラッグ&ドロップしたり、その対応するテキストをメニュー上で移動します。
- 矢印キーを使用してサムネイルやテキストを希望する位置に移動します。

プレイリストの追加

ディスクにプレイリストを追加すると、ディスクを再生したときにコンテンツのどの部分を表示するか指定できるようになります。作成したムービーの異なるバージョンを表示する場合などに備えて、オリジナルのコンテンツとは異なるバージョンのプレイリストを表示できるように複数のプレイリストを書き込むことができます。



注：プレイリストは、DVD-VR または BDAV ディスクを作成する場合にのみ作成することができます。

プレイリストを作成するには、次の操作を行います。

1. コンテンツウィンドウの [編集] 機能の [プレイリスト] をクリックします。
2. 必要に応じて、 をクリックして、新しいプレイリストを作成します。
3. 再生ボタンを使用してビデオやプレイリストを追加したいビデオの開始 / 終了位置の部分をプレビューしたらをクリックしてビデオの開始 / 終了位置をプレイリストに  追加します。
4.  をクリックすると、選択したオリジナルクリップをプレイリストに追加します。

5. **[OK]** をクリックします。

注：必要に応じて、 や  ボタンを使用して作成した利用可能なすべてのプレイリストをスクロールします。

コンテンツのファイナライズ

メディアを取得し、筋書きをまとめてクリップを編集し、音声などの効果を追加して、レイアウトやディスクの概観をカスタマイズしたら、いよいよ作品を完成させましょう。

ディスクコンテンツのプレビュー

クリップの整理が完了し、コンテンツが完成したら、ディスクに書き込む前に作品全体をプレビューすると良いでしょう。また、ディスクのプロパティやディスクのメニューも見ることができます。



ビデオ、スライドショー、および追加した設定を含む作品全体をプレビューするには、[プレビュー] タブをクリックします。メニューやビデオサムネイルの動画をプレビューするには、 をクリックします。また、ディスクのビデオコンテンツのすべてを最初からプレビューするには、 をクリックします。プレビューウィンドウの下にあるボタンを使って、プレビューを開始したり停止したりできます。

注：インスタント / モーションプレビュー機能は、DVD+VR ディスクで利用できません。

ディスクへの作品の書き込み

ムービー作成の仕上げは、作品をディスクに書き込む作業です。書き込んだ作品は、ディスクプレイヤーで再生して、家族や友人と一緒に楽しむことができます。



作品をディスクに書き込むには、次のようにします。

1. [書き込みの設定] ウィンドウで [ディスクの書き込み] オプションを選択します。
2. 使用する書き込みオプションを選択します。
 - 作成するコピーの数を入力します。
 - ディスクにボリュームラベルを付ける場合、ラベルを入力します。
3. [書き込み] をクリックします。処理がすぐに始まります。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

注：書き込み処理にはも数分かかります。時間は、ビデオの長さにより異なります。CyberLink PowerProducer で作品が表示されるまで、少々お待ちください。

処理が完了するとメッセージが表示され、次に行える操作のオプションが表示されます。

- ・ [ディスクのプレビュー] をクリックすると CyberLink PowerDVD(インストールされている場合) でディスクを再生します。
- ・ CyberLink PowerProducer のメインウィンドウに戻るには、[メインメニューに戻る] をクリックします。
- ・ プログラムを終了するには、[PowerProducer の終了] をクリックします。

ディスクイメージとしての作品の保存

作品をディスクイメージとしてハードディスクに保存し、あとでディスクに書き込むことができます。このオプションは、コンピュータに書き込みドライブがない場合には、特に便利です。

作品をディスクイメージとして保存するには、次のようにします。

1. [ディスクイメージの保存] オプションを選択します。
2.  をクリックし、ディスクイメージを保存するディレクトリを選択して、ファイル名を入力します。
3. [書き込み] をクリックします。処理がすぐに始まります。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

処理が完了するとメッセージが表示され、次に行える操作のオプションが表示されます。

- ・ CyberLink PowerProducer のメインウィンドウに戻るには、[メインメニューに戻る] をクリックします。
- ・ プログラムを終了するには、[PowerProducer の終了] をクリックします。

フォルダの作成

フォルダを作成すると、ハードディスクにムービーを作成するためのファイルがすべて保存されるため、すぐに作成に取り掛かることができます。

フォルダを作成するには、次の操作を行います。

1. [フォルダの作成] オプションを選択します。
2.  をクリックし、フォルダを保存するディレクトリを選択します。

注：フォルダを作成すると、ディレクトリ内のデータがすべて上書きされます。

3. [書き込み] をクリックします。処理がすぐに始まります。
CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

処理が完了するとメッセージが表示され、次に行える操作のオプションが表示されます。

- CyberLink PowerProducer のメインウィンドウに戻るには、[メインメニューに戻る] をクリックします。
- プログラムを終了するには、[PowerProducer の終了] をクリックします。

書き込み終了後のディスク編集

作品を +VR、-VR、または BDAV 形式の書き換え可能ディスクに書き込んだ場合は、前に戻り後からコンテンツを編集することができます。

書き込み終了後に編集するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. [VR の編集] をクリックします。



3. ターゲットディスクを挿入して、書込速度とアスペクト比を選択したら [次へ] をクリックします。
4. CyberLink PowerProducer プログラムで必要な変更を行います。
 - ・ コンテンツの取得は、15 ページの「コンテンツの取得」をご覧ください。
 - ・ クリップまたはスライドショーの編集は、20 ページの「クリップの編集」をご覧ください。

- スライドショーの編集には、25 ページの「写真スライドショーの編集」をご覧ください。
 - ディスクメニューの変更には、30 ページの「ディスクメニューの作成」をご覧ください。
5. 編集が終わったら [次へ] をクリックし、[書き込み] をクリックしてディスクに書き込みます。

第 3 章：

Right-to-Disc

ビデオコンテンツを DV カメラ、HDV カメラ、TV、ウェブカメラ、ビデオデッキから直接 DVD やブルーレイディスクに書き込むことができます。途中でハードディスクにいったん保存する必要はありません。これにより、ビデオをディスクに書き込むための時間を大幅に節約できます。

注：ビデオカメラがコンピュータで外部ディスク ドライブとして認識される場合は、Right-to-Disc 機能を使用できません。このような場合は「ビデオファイルのインポート」機能を使用して外部ドライブ（ビデオカメラ）からハードディスクにファイルを直接インポートします。

最も簡単な方法は、ビデオコンテンツを直接 DVD や Blu-ray ディスクに書き込み、ビデオを DVD プレイヤーや Blu-ray ディスクプレイヤーで再生したり、将来また別のプロジェクトで使うために保存したりできるようにすることです。

この章には、次の節があります。

- 46 ページの「ビデオを直接ディスクに書き込む」

注：使用できる機能は、インストールしているバージョンによって変わる場合があります。

ビデオを直接ディスクに書き込む

CyberLink PowerProducer を使用すると次の直接書き込み処理が行えます。

- DV カメラから DVD や Blu-ray ディスクにビデオを直接書き込む
- HDV カメラから Blu-ray ディスクにビデオを直接書き込む
- TV から DVD や Blu-ray ディスクにビデオを直接書き込む
- PC ウェブカメラから DVD や Blu-ray ディスクにビデオを直接書き込む
- VCR から DVD や Blu-ray ディスクにビデオを直接書き込む

これらの機能を実行する手順は殆ど同じです。ただし、設定が多少異なります。

ビデオをディスクに直接書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。

2. **[Right-to-Disc]** をクリックします。



3. 使用するディスクを挿入し、正しいドライブが選択されていることを確認します。
4. **[最大速度]** ドロップダウンリストで書き込み速度を選択します。

5. ドロップダウンリストでターゲットのディスク形式を選択し、**[次へ]** をクリックします。



6. **[録画]** をクリックして書き込みを開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

注：DV または HDV カメラがオンになっていることを確認し、VCR/カメラモードに設定すると CyberLink PowerProducer が認識します。

7. 必要に応じて、 を設定してデバイスを設定します。
8. 必要に応じて、設定項目を設定します。
9. 必要に応じて、**[詳細]** タブをクリックし、ディスクまたはビデオの設定を表示 / 設定します。

注：[詳細] タブの  をクリックして、ディスクのメニューのカスタマイズを行います。詳しくは、30 ページの「ディスクメニューの作成」をご覧ください。

10. **[開始]** をクリックして書き込みを開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

注：書き込み処理にはも数分かかります。時間は、ビデオの長さにより異なります

書き込んだビデオは、プレビューウィンドウのボタンを使用してプレビューできます。

第 4 章：

ディスクユーティリティ

CyberLink PowerProducer では、ディスクのコンテンツや形式、ディスクイメージファイル、およびディスクフォルダを管理するためのいろいろなユーティリティを提供しています。この便利なユーティリティにアクセスするには、CyberLink PowerProducer メインページのディスクユーティリティを選択します。

この章には、次の節があります。

- 52 ページの「ディスクの消去」
- 53 ページの「ディスクのコピー」
- 55 ページの「DVD プレイヤ互換ディスクの作成」
- 57 ページの「ディスクのファイナライズ実行と解除」
- 58 ページの「ディスクイメージの書き込み」
- 59 ページの「ディスクイメージの保存」
- 60 ページの「フォルダの書き込み」
- 61 ページの「ファイルの出力」

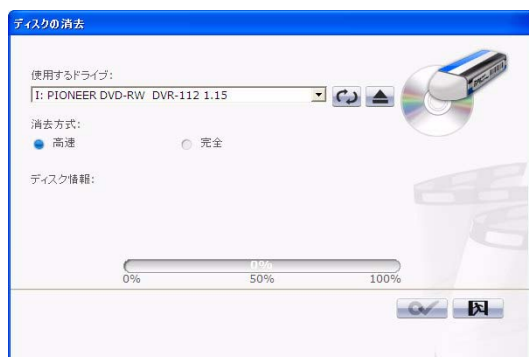
注：使用できる機能は、インストールしているバージョンによって変わる場合があります。

ディスクの消去

書き換え可能なディスクを使用している場合、以前書き込んだコンテンツを消去できます。これにより、1枚のディスクを何度も使用でき、ディスクを買わなくても済みます。

ディスクを消去するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. [ディスクユーティリティ] をクリックします。
3. [ディスクの消去] をクリックします。



4. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
5. 消去方法を選択します。
 - [高速] オプションでは、ディスクのインデックスを消去します。
 - [完全] オプションでは、ディスクのコンテンツすべてを消去します。
6. [開始] をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

ディスクのコピー

CyberLink PowerProducer では、ディスク形式を問わず、コピーを作成できます。ただし、コピー元とコピー先のディスクは同じ形式でなくてはなりません。たとえば、CD を DVD にコピーすることはできません。

ディスクをコピーするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. [ディスクユーティリティ] をクリックします。
3. [ディスクコピー] をクリックします。



4. ソースディスクをドライブに挿入します。
5. ターゲットディスクを書き込みドライブに挿入します。

注：ディスクのコピーを同一ドライブで行う場合、まずディスクイメージディレクトリを作成する必要があります。これにより、コピー処理中に CyberLink PowerProducer がディスクのコンテンツをハードディスクにコピーできます。

6. 使用する書き込みオプションを選択します。

- 書き込み速度を選択します。
 - 作成するコピーの数を入力します。
 - コピー中のエラーを防止するため、[バッファアンダーランエラー防止の使用] オプションを選択しておいてください。
 - [オンザフライ書き込み] オプションでは、直接ディスクに書き込みます。ハードディスクへの保存は行いません。ディスクドライブが 2 台ある場合、このオプションを使用してください。
 - コピーに使用するドライブが 1 台しかない場合、[ディスクイメージの作成] オプションを選択してください。
7. [開始] をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

DVD プレイヤ互換ディスクの作成

CyberLink PowerProducer は、DVD-VR ディスクを DVD-Video 形式 (一般の DVD プレーヤでの再生可能) に変換することができます。このユーティリティを使用するには DVD 書き込み装置が必要です。

DVD-video 互換の DVD-VR ディスクを作成するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. [ディスクユーティリティ] をクリックします。
3. [DVD-VR から DVD-Video に変換] をクリックします。



4. ソースディスクをドライブに挿入します。
注：ソースディスクは必ず DVD-VR 形式のディスクにしてください。
5. ターゲットディスクを書き込みドライブに挿入します。
注：ターゲットディスクは DVD-R/RW または DVD+R/RW 形式ディスクでも構いません。

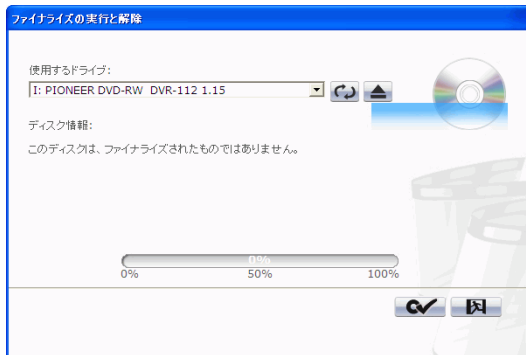
6. 使用する書き込みオプションを選択します。
 - 書き込み速度を選択します。
 - 作成するコピーの数を入力します。
 - コピー中のエラーを防止するため、[バッファアンダーランエラー防止の使用] オプションを選択しておいてください。
 - [フォルダの保存] オプションを指定すると、ディスク形式の変換中に DVD フォルダをディスクに保存します。
7. [開始] をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

ディスクのファイナライズ実行と解除

プレイヤーの -VR 設定で DVD-RW をプレビューするには、先にディスクを完成させる必要があります。(ファイナライズの解除を行うと同じホームディスクプレイヤで見ることができません。)ファイナライズしたディスクは、たとえ空きスペースがあってもデータを追加できません。ただし、ビデオの追加やチャプタの追加などの編集機能を使うには、ファイナライズを解除する必要があります。

ディスクファイナライズの解除をするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. [ディスクユーティリティ] をクリックします。
3. [ファイナライズの実行と解除] をクリックします。ディスクの状態によりファイナライズ実行または解除のウィンドウが開きます。



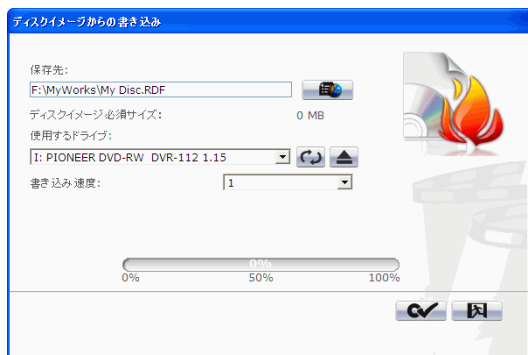
4. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
5. [開始] をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されません。

ディスクイメージの書き込み

ディスクイメージは、ムービーコンテンツのすべてと設定で構成されており、圧縮して RDF、ISO 形式でディスクに保存し、あとで使用できます。ディスクイメージは、ディスクに書き込むためのファイル構造で保存されます。

ディスクイメージを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. [ディスクユーティリティ] をクリックします。
3. [ディスクイメージからの書き込み] をクリックします。



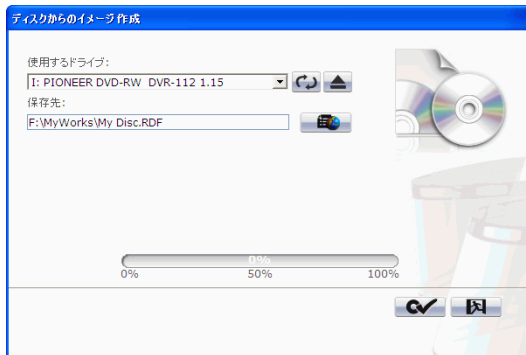
4. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
5.  をクリックし、ディスクイメージファイルを開きます。
6. [開始] をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

ディスクイメージの保存

ディスクイメージをディスクに書き込んだ後、そのイメージファイルをハードディスクに保存できます。この機能は、ディスクのバックアップをハードディスクに保存しておき、あとで書き込みを行うのに便利です。たとえば、コンピュータに書き込みドライブがない場合なども、この機能を使用すると良いでしょう。

ディスクイメージを保存するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. [ディスクユーティリティ] をクリックします。
3. [ディスクからのイメージ作成] をクリックします。



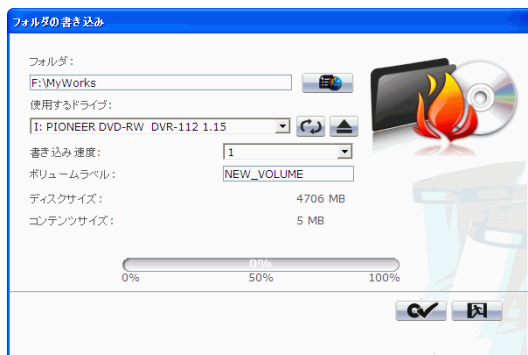
4. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
5.  をクリックし、ディスクイメージを保存するディレクトリを選択して、ファイル名を入力します。
6. [開始] をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

フォルダの書き込み

作品のメディアファイルすべてを保存したフォルダを作成してある場合、このフォルダをディスクに書き込んで保存できます。(フォルダの書き込みはディスクイメージの書き込みに似ていますが、圧縮しないため、互換性の問題が起こりません。)

フォルダを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. [ディスクユーティリティ] をクリックします。
3. [フォルダの書き込み] をクリックします。



4. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
5.  をクリックし、書き込むフォルダを選択します。
6. [開始] をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

ファイルの出力

ファイルの出力機能を使うと、ディスクに保存された DVD ビデオ、DVD-VR、DVD+VR、BDMV、および AVCHD ファイルを MPEG 形式でハードディスクに保存してムービー製作に使用することができます。

注：使用できる機能は、インストールしているバージョンによって異なる場合があります。フルバージョンを購入するには、CyberLink オンラインストアをご利用ください。

ファイルをハードドライブに出力するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. [ディスクユーティリティ] をクリックします。
3. [ファイルの出力] をクリックします。[ファイルの出力] ウィンドウが開きます。



4. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
5. シーンウィンドウのクリップを選択します。

- ・ プレビューウィンドウの再生制御を使用してビデオをプレビューして出力したコンテンツであることが確認できます。
6.  をクリックしてから、ファイルを保存するディレクトリを選択します。
 7. **【ファイルの出力】** をクリックします。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

第 5 章：

作品の環境設定

多様な作業方法をサポートするため、CyberLink PowerProducer にはさまざまな環境設定が用意されています。環境設定を行うには、 ボタンをクリックします。このボタンは、ほとんどのウィンドウに用意されています。

この章には、次の節があります。

- 64 ページの「プロジェクトの環境設定」
- 66 ページの「ビデオ / 音声の環境設定」
- 67 ページの「一般的な設定」

プロジェクトの環境設定

注：使用できるプロジェクトのオプションは、選択したディスクのフォーマットによって変わります。

- ・ **タイトル再生後の動作**：ムービーの終了後に、ディスクメニューに戻るか、ディスクにある次のムービーを再生するかを、ビデオに設定します。
- ・ **作業用フォルダ**：CyberLink PowerProducer で出力用に使用するディレクトリです。このディレクトリは、インストール時に設定します。このディレクトリを変更する場合、作品を保存するのに十分な空き容量が変更先のハードディスクにあることを確認してください。
- ・ **一時保存フォルダ**：CyberLink PowerProducer で一時ファイルを作成する際に使用するディレクトリです。一時ファイルは、CyberLink PowerProducer を終了すると自動的に削除されます。
- ・ **デフォルトのファイル名**：キャプチャしたビデオファイルに付ける名前を指定します。個々のキャプチャファイルを識別するため、CyberLink PowerProducer によって固有のタイムスタンプが付加されます。
- ・ **書き込みを行うデータの自動分割**：キャプチャしたビデオを分割して、ビデオファイルが使用するタイプのディスクにおさまるようにします。
- ・ **チャプタポイントの設定**：設定した時間が経過するごとに、新しいチャプタが自動的に作成されます。
- ・ **Cyberlink MPEG@Best の使用**：MPEG ビデオを書き込む際に、書き込み速度とビデオ画質のバランスをとる場合、これを選択します。
- ・ **サムネイルの番号設定**：ディスクメニューにサムネイルインデックスを追加する場合に選択します。
- ・ **モーションサムネイルの使用**：チャプタサムネイルでディスクメニューのビデオを表示するときに選択します。
- ・ **自動メニューのタイムアウト**：このオプションを選択すると、指定時間経過後にディスクを自動再生します。

- ユーザー定義メニュー期間：ディスクのビデオを自動表示する前（自動メニューの開始タイマが設定されてる場合）に、入力した時間でメニューを表示します。
- 消去後、ディスクをイジェクトする：消去が完了した後、自動的にディスクをイジェクトする場合、CyberLink PowerProducer を選択します。
- TV で再生可能な範囲の表示：ディスクメニューの作成時、[オーサリング] ウィンドウに TV で再生可能な範囲を示すボックスを表示する場合、これを選択します。この機能を使用すると、テキスト、サムネイル、ボタンなどのメニューアイテムがほとんどの TV で表示できるものであるかどうか確認できます。

ビデオ / 音声の環境設定

注：使用できる画質や音質のオプションは、選択したディスクのフォーマットにより異なります。

- **ビデオ形式**：現在のプロジェクトのビデオファイルの形式を表示します。
- **画質**：ビデオの画質を選択できます。HD（ハイビジョン）、SD（標準画質）、HQ（高画質）、SP（標準）、LP（長時間）、EP または Smart Fit。画質設定にはさまざまなビットレートが提供されており、出来上がるファイルのサイズに影響します。ビデオの画質が上がると、ファイルが大きくなり、ディスクに収めることができる長さが短くなります。また、高画質ビデオのキャプチャや表示には、より大きな CPU パワーが必要となります。[スマートフィット] オプションでは、使用するディスクの容量に納まる最も高い画質のビットレートを自動的に使用します。
- **音質**：音声品質の種類：[LPCM] は、無圧縮音声形式です。[Dolby Digital ステレオクリエーター] は Dolby Digital による音声形式を使って品質の高いステレオサウンドを出力します。[Dolby Digital 5.1 クリエーター]（注記：この機能は特定の CyberLink PowerProducer でのみ利用可能なオプションです。）は Dolby Digital による音声形式を使用して品質の高い 6 チャンネルサウンドを出力します。
- **TV 信号形式**：ディスクを再生する地域を選択します。これにより、使用する TV 形式 (PAL または NTSC) が決まります。

一般的な設定

- ・ システムのデフォルト言語を使用：このオプションを選択すると、CyberLink PowerProducer の表示言語がオペレーティングシステムのデフォルト言語と同じものになります。
- ・ ユーザー定義：このオプションを選択すると、ドロップダウン リストから CyberLink PowerProducer で使用する言語を選択できます。
- ・ インターネット接続：このオプションを選択すると、CyberLink PowerProducer は自動的にインターネットに接続して、更新情報を確認し、CyberLink のプロモーション情報を表示します。

第 6 章：

テクニカルサポート

この章には、テクニカルサポートの情報を記載されています。ユーザーが回答を見つけるために役立つすべての情報が含まれています。現地の販売店 / ディーラーにお問い合わせによっても、素早く回答が得られます。

この章には、以下のセクションがあります。

- 70 ページの「テクニカルサポートにお問い合わせになる前に」
- 71 ページの「Web サポート」

テクニカルサポートにお問い合わせになる前に

次のいずれかにより、CyberLink の無料テクニカルサポートをご活用ください。

- ・ プログラムと共にインストールされたユーザーガイドまたはオンラインヘルプで調べる。
- ・ CyberLink Web サイトのサポートセクションで FAQ (よく受ける質問) を参照する。

http://www.cyberlink.com/multi/support/product_faq_home.jsp

FAQ にはユーザーガイドやオンラインヘルプよりも新しい情報やヒントが含まれている可能性があります。

テクニカルサポートに電子メールや電話でお問い合わせの場合は、次の情報をご用意ください。

- ・ 登録した アクティベーションキー (アクティベーションキーは CD ケース、箱、または Cyberlink ストアで PowerProducer を購入した後で受け取った電子メールに明示されています。)
- ・ 製品名、バージョンとビルド番号。これらは通常、ユーザーインターフェイスの製品名をクリックすると表示されます。
- ・ コンピュータにインストールしている Windows のバージョン。
- ・ システムのハードウェア デバイス (キャプチャカード、サウンドカード、VGA カード) およびその仕様。
- ・ 表示された警告メッセージの内容 (書き留めるか、スクリーンショットをとります)。
- ・ 問題が発生した状況とその問題の詳細な説明。

Web サポート

問題に対する解決策は、次により CyberLink の Web サイトで 1 日 24 時間、無料で入手できます。

注 : CyberLink Web サポートをご使用になるには、初めにメンバーとして登録する必要があります。

CyberLink は、次の言語による FAQ やユーザーコミュニティフォーラムなど豊富な Web サポートオプションを提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	http://www.cyberlink.com/CS/support/enu/support_index.jsp
繁体字中国語	http://tw.cyberlink.com/CS/support/cht/support_index.jsp
日本語	http://jp.cyberlink.com/jpn/support_jpn/support_index.jsp
イタリア語	http://it.cyberlink.com/CS/support/ita/support_index.jsp
ドイツ語	http://de.cyberlink.com/CS/support/deu/support_index.jsp
フランス語	http://fr.cyberlink.com/CS/support/fra/support_index.jsp
スペイン語	http://es.cyberlink.com/CS/support/esp/support_index.jsp

索引

A

AVCHD 13

B

BGM、アルバムに追加する 26

Blu-ray ディスクを作成します。

BDAY 13

BDMV 13

C

CM カット 23

D

DivX 13

Dolby Digital ステレオクリエーター
66

DVD 13

DVD-VR から DVD-Video に変換 55

DVD-VR ディスク、DVD-video 互
換の作成 55

DVD フォルダ、ディスクに書き込
む 60

DVD を作成します。

DVD+VR 13

DVD-Video 13

DVD-VR 13

DV、DVD に書き込む 45

L

LPCM 66

M

MPEG@Best 64

R

Right-to-Disc 47

S

Smart Fit 66

SVCD 13

T

- TV で再生可能な範囲 65
- TV で再生可能な範囲の表示 65
- TV 信号形式 66

V

- VCD 13

あ

- アスペクト比 14
 - 調整する 20
- アルバム
 - BGM を追加する 26
 - 写真を追加する 25
 - 新しく作成する 25

お

- オンザフライ書き込み 54

か

- カスタムメニュー背景 31
- カット 20

き

- キャプチャする
 - デジタルカメラから 18
 - 取り外し可能デバイスから 18

く

- クリップ
 - 編集する 20
- クリップを結合する 21
- クリップを分割する 22

こ

- コンテンツを取得する
 - デジタルカメラから 18
 - 取り外し可能デバイスから 18

さ

- サポートするディスクとファイルの形式 7
- サムネイル
 - 移動する 36
- サムネイルインデックス 64

し

シーンを検出する 34
 シーン検出 34
 システム要件 8

す

スライドショー
 BGMを追加する 26
 スライドショーの追加 26
 スライドショーの表示時間、設定
 27

そ

ソフトウェアのアップグレード 6

た

タイトルサムネイル
 イメージを設定する 28

ち

チャプタ
 設定 33
 チャプタを設定する 33

て

ディスク
 プレビュー 39
 ディスクイメージ
 作成する 54
 書き込み 58
 保存する 59
 ディスクイメージの保存 41
 ディスクコピー
 PowerProducer モードアイコン 3
 ディスクサイズ 14
 ディスクのタイプ
 サポートする 7
 ディスクのファイナライズ 57
 ディスクの書き込み 40
 ディスクファイナライズの解除 57
 ディスクメニューを変更する
 テキストを編集する 32
 テンプレート 31
 表示されるボタン数 32
 ディスクユーティリティ 51
 DVD フォルダの書き込み 60
 コピーする 53
 ディスクイメージ 58
 ディスクイメージを保存する 59
 ディスクのファイナライズの実
 行と解除 57
 ファイルの出力 61
 消去する 52
 ディスクをコピーする 53
 ディスクを消去する 52
 ディスク形式
 サポートする 7
 データディスク
 PowerProducer モードアイコン 3
 デジタルカメラ、キャプチャする

18

デフォルト

キャプチャしたビデオのファイル名 64

テンプレート 31

と

トランジション効果 27

は

ハードドライブの出力 61

バッファアンダーランエラー防止
54, 56

ひ

ビデオ CD 13

ビデオ CD を作成します。

DivX 13

SVCD 13

VCD 13

ビデオディスク

PowerProducer モードアイコン 3

ビデオレコーディング形式 14

ビデオ形式

作成用を選択する 12

ビデオ形式の選択 12

ふ

ファーストプレイ 33

ファイルの出力 61

ファイル形式

サポートする 7

フォルダの作成 42

ブルーレイディスク 13

プレイリスト

追加する 37

プレビューする

DVD コンテンツの読み込み時

37, 62

作成 39

プロジェクトファイル 3

ほ

ボタン

ページあたりの数 32

む

ムービーディスクの作成 11

ムービーディスクを 12

ムービー再生モード 64

め

メニュー

カスタマイズする 30
 カスタム背景 31
 テキストを編集する 32
 テンプレート 31
 ファーストプレイ 33
 表示されるボタン数 32
 メニューページをカスタマイズする
 30

も

モーションサムネイル 64

ゆ

ユーティリティ 51

よ

ようこそ 2

その他

移動
 サムネイル 36
 一時保存ディレクトリ 64
 音楽ディスク
 PowerPorducer モードアイコン 3
 音声品質 : 66

画質 : 66
 回転
 Exif (エグジフ) 28
 自動 28
 開始位置 21, 24
 完全消去 52
 高速消去 52
 再生モード 64
 再生可能な範囲 65
 作業用ディレクトリ 64
 作成する
 PowerProducer プロジェクト 4
 アルバム 25
 ディスクイメージファイル 54
 作品をプレビューする 39
 自動拡縮 (パンとズーム) 27
 自動検出
 コマーシャル 23
 自動写真回転 28
 写真
 回転 26
 写真の回転 26
 取り外し可能デバイス、キャプチャ
 する 18
 終了位置 21, 24
 書き込み
 DVD フォルダからディスクへ 60
 DV コンテンツを DVD に 45
 ディスクイメージからディスク
 へ 58
 書き込み終了後にディスクを編
 集する 43
 書き込みの設定 51
 静止画ファイル
 スライドショーの追加 26
 ディスクにバックアップする 28
 静止画ファイルのバックアップ 28

- 選択した部分 21
- 選択した部分以外 21
- 選択部分を削除 24
- 選択部分を残す 24
- 追加する
 - BGM をアルバムに 26
 - プレイリスト 37
 - メニューの背景に使用するイ
メージ 31
 - 写真をアルバムに 25
- 背景イメージの追加 31
- 編集する
 - クリップ 20
 - ディスクメニューのテキスト 32
 - 書き込み終了後のディスク 43
- 保存する
 - ディスクイメージ 59